



専攻医の声 Q&A



循環器内科
3 年次
柏木 祐俊

Q プログラムの特色を教えてください。

A 内科専門医を取るためには多数の内科症例を中心に効率よく症例を経験することが必要ですが、墨東病院の内科研修では循環器科だけでなく腎臓内科や脳神経内科などの専門外の内科を一年間ローテイトします。さらに市中病院ではみる機会の少ない膠原病や感染症の症例も経験することができます。循環器内科に進むうえで、内科医として専門以外の知識や経験も得ることができる環境は非常に魅力的に感じました。また、当院の循環器内科はCCU ネットを通じて多数の循環器救急患者を対応します。さらに、術者としてPCIやカテーテルアブレーションを行うことができます。後期3年目には自身が希望する循環器に特化したハイボリュームセンターなどでも研修することができます。大変魅力的な環境となっています。

Q この病院で研修を受けて良かったことは？

A 私は墨東病院で初期研修を行い、循環器内科の専門研修医として墨東病院に残りました。熱心で優秀な指導医が多く在籍していることも魅力で、日々の診療に加えて、内科専門医の取得に必要なJ-OSLERの病歴要約の添削や学会発表の準備まで、熱く、そして丁寧に指導していただけます。豊富な経験に加えて正しい知識を身に着けることが医師としての臨床能力を磨くことに繋がるのだと日々実感しております。そのような病院で経験を積んだ上級医の先生が多数いらっしゃるため、多角的な視点を持った診療を獲得することができ、また、様々なロールモデルを知ることができる貴重な環境であると考えます。このような環境で専門研修を行うことで、初期研修とは異なった責任感を得ながら、専門医取得に向けて土台を作りながら進んでいくことができると確信しています。